

令和6年度 難波・湊町地域の都市再生推進方策等検討調査業務委託に係る
公募型プロポーザル方式による選定結果について

1 案件名称

令和6年度 難波・湊町地域の都市再生推進方策等検討調査業務委託
契約期間 契約日から令和7年3月21日まで

2 選定した委託予定事業者

創遊・汎・パラカ特別共同企業体

3 公募期間

令和6年7月26日から令和6年8月6日

4 学識経験者の意見を聴取する検討会議の委員による審査の結果

(1) 検討会議委員名簿（敬称略）

補職名	氏名
京都大学大学院 工学研究科 都市社会工学専攻 教授	大庭 哲治
関西大学 環境都市工学部建築学科 教授	木下 光
大阪公立大学大学院 工学研究科都市系専攻 准教授	吉田 長裕

(2) 検討会議の開催日 令和6年9月10日

(3) 審査基準

評価項目		基準	配点			
業務実施体制	実施体制の的確性	同種業務の実績があるスタッフを配置し、業務を確実に遂行できる体制であるかを評価する。	10	20		
	管理技術者	同種業務の実績があるか、また、その実績として挙げた業務において中心的、あるいは主体的に参画したかを評価する。	5			
	業務実施計画	実施方針や実施手順の妥当性を評価する。	5			
テーマに対する技術提案	全体テーマ	的確性	【OCATの将来的な役割】 「なにわ筋線」の整備などの難波・湊町エリアを取り巻く環境変化を見据え、以下の3つの視点からOCATの担う役割・機能について提案すること ① 梅田、新大阪などの他のバス発着拠点を含めた全市的な視点からのOCATバスターミナル ② 難波・湊町エリアの視点からのOCATの公共通路 ③ 難波・湊町エリアにおける鉄道駅直結施設（公共機能と民間機能も含めた施設全体）	提案内容が、社会背景、地域の状況を踏まえた内容となっているかを評価する。	10	80
		合理性	提案内容が合理的であるかどうかを評価する。	10		
	特定テーマ1	的確性	【類似事例の収集】 OCATビルにおける公共交通機能（バスターミナル・公共通路）のあり方を検討するうえで、参考とすべき施設の事例をバスターミナル、公共通路でそれぞれ一つ挙げ、理由を添えて提案すること。（良い事例か悪い事例かは問わないものとする）	提案事例が、OCATビルにおける公共交通機能（バスターミナル・公共通路）のあり方を検討する上で、施設の規模や機能、地域特性などからの確かさを評価する。	10	
		合理性	提案事例における参考とすべき具体的な内容が、OCATビルにおいて参考とすべき合理性があるかを評価する。	10		
	特定テーマ2	提案力	【事業スキーム】 全体テーマ及び特定テーマ1での提案内容を前提として、OCATビルを民間資金のみで安定的に維持していくための賃貸可能面積の増加策を提案すること。（バスターミナルのオペレーション等、ソフト面の方策との複合案も可）	提案内容が、難波・湊町地域の特性やOCATの実情を踏まえたうえで優れているかを評価する。	20	
		具体性	提案内容に具体性があり、論理的に整理された実現性のあるものとなっているかを評価する。	20		
合計			100			

(4) 審査を行った事業者（提出順）

総合調査設計株式会社

創遊・汎・パラカ特別共同企業体

全2者

(5) 審査の結果（委員の評価点の合計点）（合計点が高い順）

評価項目		A社	B社
業務体制	実施体制の適格性	26点	23点
	管理技術者	12点	12点
業務実施計画		9点	13点
全体テーマ	適格性	24点	25点
	合理性	26点	26点
特定テーマ1	適格性	24点	21点
	合理性	24点	19点
特定テーマ2	提案力	52点	40点
	具体性	48点	38点
合計		245点	217点